

## II 農場運営

雑誌名	鹿児島大学農学部農場年報
巻	3
ページ	8-19
発行年	2007
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10232/21061">http://hdl.handle.net/10232/21061</a>



### 3) 農場施設の利用

農場では、学外・内を問わず広く施設の利用を受け入れている。

#### (1) 学外

(学内農場農事部)

- ・私立めぐみ幼稚園 園児 48名 教師・保護者 9名  
時期：5月17日  
内容：園外活動の一環として、甘藷の植え付けを体験するとともに、圃場周辺の虫や蝶など春の自然を観察する
- ・鹿児島大学教育学部附属小学校 第5学年 160名  
時期：6月13日～10月31日  
内容：総合的な学習の時間における体験的な学習活動の一環として、水稻を育てる学習のために使用する
- ・私立めぐみ幼稚園 園児 50名 教師・保護者 9名  
時期：10月11日  
内容：甘藷の成長を観察し、収穫を行う

(唐湊果樹園)

- ・鹿児島市立中郡小学校 児童 60名  
時期：5月8日  
内容：春の動植物の様子を観察し、昆虫採集をする。(理科学習の一環での自然観察)
- ・鹿児島大学教育学部附属幼稚園 幼児 66名 引率者 6名  
時期：10月30日  
内容：みかん狩りをして収穫の喜びを味わうとともに、野山の観察及び草花や虫との触れあい
- ・九州農場部会 30名  
時期：2月16日  
内容：九州地区の大学農場職員の会合

(指宿植物試験場)

- ・九州地区クミアイ農薬普及会 11名  
時期：6月8日  
内容：亜熱帯、熱帯原産の植物に対する見識を深めるため
- ・鹿児島大学教育学部附属特別支援学校 高等部3年 1名  
時期：6月26日～7月10日(10日間)  
内容：産業現場における実習実施
- ・指宿熱帯果樹研究会 30名  
時期：7月23日  
内容：国際農林水産業センター講師によるアボカド栽培方法について講演
- ・熊本県芦北地方青年農業者クラブ連絡協議会 10名  
時期：11月22日  
内容：芦北地方青年農業者クラブ農業視察研修のため(温帯・熱帯作物)

(入来牧場)

- ・韓国江原大学 担当教員及び学生 10名  
時期：6月26日  
内容：視察研修
- ・慶尚大学校 担当教授及び学生 23名  
時期：7月22日  
内容：先進国の農業先進技術、畜産業の家畜改良技術、ブランド生産過程と流通体系などの習得及び理解
- ・全羅北道鎮安郡農業経済課 職員及び農民 27名  
時期：10月3日  
内容：日本の畜産実績と流通構造把握、防疫関係他視察研修

#### (2) 学内

(指宿植物試験場)

- 9月11日～14日 生物資源科学科土壌科学研究室(30名)
- 11月22日～25日 附属農場植物部門主任：平成20年度卒業研究に伴うヤムイモ類の収穫と調査引率(4名)

12月1日～2日	附属農場動物部門主任：平成20年度卒業研究に伴うヤムイモ類の収穫と調査引率（10名）
1月23日	指宿市周辺の熱帯果樹栽培農家を対象とした検討会開催（25名）
3月24日	指宿市周辺の熱帯果樹栽培農家を対象とした勉強会及び情報交換会（25名）
3月20日～21日	生物生産学科農業市場学研究室（11名）
（入来牧場）	
6月8日～9日	生物生産学科家畜管理学研究室（10名）
6月26日	獣医学科学外臨床実習（4～5名）
6月30日～7月1日	生物生産学科家畜管理学研究室（10名）
7月20日～21日	附属農場動物部門主任引率（9名） 供試子牛の行動調査
7月24日	獣医学科学外臨床実習（4～5名）
8月4日～5日	附属農場動物部門主任引率（20名） 八重山高原星物語の学生ボランティア活動及び会場後片付け
8月28日	獣医学科学外臨床実習（4～5名）
8月29日～30日	附属農場動物部門主任引率（9名） 供試子牛の行動調査
9月20～21日	家畜人工繁殖学実習（22名）
9月25日	獣医学科学外臨床実習（4～5名）
11月6日	産業動物獣医学実習（15名）
11月27日	産業動物獣医学実習（15名）
3月13日～14日	生物生産学科家畜管理学研究室（5名）

#### 4) 刊行物

- 鹿児島大学農学部附属農場年報，第2号（2007.10）  
鹿児島大学農学部附属農場研究報告，第30号（2008.3）

#### 5) 行事

- 4月4～5日 展示即売会および市民農業講座  
6月29日 学内農場農事部田植え祭

#### 6) 平成19年度全国大学農場協議会

##### (1) 春季全国協議会

日 時：平成19年5月10日13時30分～5月11日12時  
場 所：フロラシオン青山（東京都港区南青山4-14-58）  
参加者：坂田農場長，黒田主事

##### (2) 秋季全国協議会

日 時：平成19年10月11日～10月12日  
場 所：南九州大学（宮崎市）  
参加者：坂田農場長，西川業務係長，松元技術総括

##### (3) 九州地域協議会

日 時：平成19年8月23日～8月24日  
場 所：九州大学（福岡市）  
参加者：坂田農場長，伊村動物部門主任，龍野技術職員

## 2 会計事項

### 1) 予算および決算

平成19年度の農場予算および決算は、第6表のとおりである。予算額142,824,050円、決算額141,967,967,958円で、差額56,092円であった。

第6表 平成19年度予算および決算

(単位：円)

施設名	当初配分額	追加配分額 および振替額	予算額	決算額	差引過不足額
学内農場農事部	4,432,052	910,000	5,342,052	6,635,571	△1,293,519
唐湊果樹園	8,268,503	0	8,268,503	8,127,958	140,545
指宿植物試験場	8,558,198	0	8,558,198	8,301,215	256,983
入来牧場	64,377,830	0	64,377,830	73,036,235	△8,658,405
学内農場畜産部	1,553,234	422,100	1,975,334	2,168,520	△193,186
主事	583,512	0	583,512	488,809	94,703
植物部門主任	500,000	17,000	517,000	487,323	29,677
動物部門主任	500,000	△7,000	493,000	506,080	△13,080
農場本部(事務含む)	45,817,164	6,891,457	52,708,621	42,216,247	10,492,374
合計	134,590,493	8,233,557	142,824,050	141,967,958	856,092

### 2) 機械、設備および備品

本年度は、入来牧場の機械、備品を中心に、第7表に示すように総額5,222,970円の予算を充当した。

第7表 平成19年度機械設備等の整備 (50万円以上 予算：自己収入)

機械設備名	メーカー・規格	数量	金額 (円)	施設名
マイクロプレートリーダー	バイオテック NJ-2300	1台	630,000	入来牧場
自動哺乳システム(牛用 プレミアムボーイ SA)	独 Foreste Technik 製	1式	2,100,000	〃
ジャイロテッター	ヤンマー GTY6400,H	1台	1,365,000	〃
普通乗用車	トヨタ PROBOXV PX C-PKG 1NZ-FE 4WD	1台	1,397,460	農場本部
合計			5,222,970	

### 3) 施設整備

#### (1) 学内農場農事部

数年前より、作物生産に配慮した輪作体系を組み、田畑輪換も含めた作付体系を実施している。しかし、元来が排水不良地であるため、畑作時における、湿害の発生がみられた。そこで、平成19年度の実習教育改善経費により、排水不良の2圃場(5号：1,486㎡、と9号：1,218㎡)に暗渠排水を敷設した。今後、輪作体系をみながら、2～3年の年次計画でその他の排水不良圃場にも同様の設備を敷設する予定である。

#### (2) 唐湊果樹園

平成18年度の実習教育改善経費により、ブドウ栽培用硬質プラスチックハウス(192㎡)が新設された。また、安全性に問題が生じる恐れがあるため、第2圃場の市道に面している老朽化したフェンスの建て替えを農場共通の環境整備費を活用して行った。

7月11日梅雨末期の大雨により、園内の数箇所の土手が崩壊したため、小規模な場所は職員で、大規模な場所は業者により復旧工事を行った。それと同時期に、附属演習林唐湊林園南側斜面上部に位置する公園造成地から園内へ土砂の流入があったが、施工業者により土砂の撤去が行われた。

現在使用しているビニールハウスの一部は簡易ビニールハウスで、老朽化しパイプの腐食が目立ち、強風時には倒壊防止のためにビニールを剥がねばならず、その都度、保存植物は甚大な被害を被ってきた。台風にも耐えられる鉄骨ハウスの建設が緊急の課題である。

果樹園は唐湊墓地と隣接し、境界をフェンスで張り巡らせているが、一部倒壊し危険であるため早急な対策が必要である。また園内へのゴミの投棄が多く見られ、対策として草払い等の環境整備を行っているが、改善されないため何らかの対策を講じなければならない。

#### (3) 指宿植物試験場

平日のシルバー派遣1名を取止め、その経費を使い、老朽化していた1号・2号ハウスを撤去し新しく3連棟のビ

ニールハウスを業者委託で設置した。

全体の老朽化に伴って、温室やビニルハウス、温泉水加温関係機械、農作業機械類などの、修理、管理に割かれる時間が急速に増えてきており、栽培技術だけでなくこれら施設や機械に対する技術職員の知識、技術向上も急務である。

#### (4) 入来牧場

入来牧場管理棟は、竣工（1968）後、38年を経過し、壁面の亀裂、雨漏り等、老朽化が著しい。また、竣工時、男子のみを対象をして建設された施設は、近年の女子学生比率の高まりに対応していないことから、不都合な場面が多くなっている。入来牧場管理棟の新営および改修が緊急の課題である。

#### (5) 学内農場畜産部

動物飼育棟は築23年を経過し、雨漏りなどの老朽化が目立ってきた。今年度も雨漏り防止のために、屋根の補修を行った。概算要求による全面改修を視野に入れる必要がある。

### 3 各種会議および委員会

#### 1) 農場会議

##### (1) 委員名簿（任期2年 2007年4月1日～2009年3月31日）

農場長（委員長）	坂田 祐介
農場主事	黒田 治之
植物部門主任	遠城 道雄
動物部門主任	伊村 嘉美
生物生産学科	
作物生産学講座	佐々木 修
園芸生産学講座	富永 茂人
病虫害制御学講座	津田 勝男
家畜生産学講座	岡本 新
農業経営経済学講座	坂爪 浩史・李 哉法(2007.12～)
生物資源化学科	境 雅夫
生物環境学科	石黒 悦爾
獣医学科	窪田 力
事務長	東 繁

##### (2) 会議記録

第1回（運営会議との合同）：平成19年5月24日（木）9時30分～12時05分

- 議題 1. 入来牧場における特任職員（獣医師）の採用計画について  
 2. これからの農場運営のあり方について  
 3. 18年度附属農場決算（案）について  
 4. 19年度附属農場予算配分方針並びに付帯事項（案）について  
 5. その他

第2回：平成19年6月14日（木）16時～16時40分

- 議題 1. 農学部創立100周年記念事業に伴う「焼酎製造用のサツマイモ栽培」について

第3回：平成19年7月30日（月）15時～17時25分

- 議題 1. 19年度附属農場予算配分額（案）について

第4回：平成19年8月20日（月）15時～16時05分

- 議題 1. 19年度附属農場予算配分額（案）について（継続）

第5回：平成19年9月25日（火）16時～17時25分

- 議題 1. 19年度農場実習Ⅱ（4期）プログラム（案）について  
 2. 19年度後期農場施設等利用計画（案）について

第6回：平成19年10月31日（水）15時30分～16時45分

- 議題 1. 入来牧場における牛の病気問題について

第7回：平成19年11月28日（水）9時30分～11時25分

- 議題 1. 入来牧場問題の今後の対応策について  
 2. 19年度実習改善経費の課題選考及び実行委員会の設置について

## Ⅱ 農場運営

3. 記念焼酎用イモ栽培のための農場施設利用の要望について
4. 動物飼育棟雨漏り修繕費の農場と研究室の経費分担について
5. 学内販売所の整備について

第8回：平成19年12月12日（水）9時30分～12時20分

- 議題
1. 21年度概算要求事項の概要について
  2. 入来牧場における特任准教授（管理獣医師）の採用について
  3. 家畜防疫対策委員会の設置について
  4. 自動哺乳システム（牛用）の導入について

第9回：平成20年3月17日（月）10時30分～12時

- 議題
1. 20年度前期農場実習Ⅱ及び動物関係プログラム（案）について
  2. 動物部門実習における兼担教員について
  3. 農場技術職員体制の整備について
  4. 20年度前期農場施設等利用計画（案）について
  5. 附属農場施設等利用に関する要項の一部改訂（案）について
  6. 19年度繰越金及びその用途について
  7. 決算委員会の設置について
  8. 20年度展示即売会について
  9. JT跡地の整備に係る鹿児島市との連携について

## 2) 農場運営委員会

### (1) 委員名簿

農場長（委員長）	坂田 祐介
農場主事	黒田 治之
植物部門主任	遠城 道雄
動物部門主任	伊村 嘉美
兼担教員	山本 雅史
兼担教員	高山 耕二
兼担教員	佐藤 宗治
農事部技術総括	松元 里志
唐湊果樹園技術総括	川口 昭二
指宿植物試験場技術総括	谷村 音樹
入来牧場技術総括	片平 清美
事務長代理	神宮司義成
農場総務係長	八汐 一博
農場業務係長	西川千賀子

### (2) 委員会記録

第1回：平成19年4月25日（水）10時～12時15分

- 議題
1. これからの農場の方向性と農場運営のあり方について
  2. 農場の業務見直しについて
  3. 19年度農場自動車購入経費の用途について
  4. 18年度農場年報の原稿依頼について
  5. 農場概要の改訂に伴う原稿依頼について
  6. 農場施設の学外利用者に対する経費負担について
  7. その他

第2回（農場会議との合同）：平成19年5月24日（木）9時30分～12時05分

- 議題
1. 入来牧場における特任職員（獣医師）の採用計画について
  2. これからの農場運営のあり方について
  3. 18年度附属農場決算（案）について
  4. 19年度附属農場予算配分方針並びに付帯事項（案）について
  5. その他

第3回：平成19年6月13日（水）15時～16時15分



- 議題 1. 農学部創立100周年記念事業に伴う「焼酎製造用のサツマイモ栽培」について  
2. 入来牧場で飼育されている豚の取扱について  
3. 19年度全国大学農場協議会九州地域協議会及び技術職員研修について  
4. 八重山高原星物語2007について
- 第4回：平成19年7月4日（水）15時～16時45分  
議題 1. 「記念芋焼酎の生産・製造」におけるサツマイモ栽培について  
2. 実習の役割分担とそれに関連した作物・家畜管理対象について
- 第5回：平成19年7月25日（水）15時～16時40分  
議題 1. 入来牧場における飼育豚に関する死亡豚未報告について  
2. 入来牧場における牛病気問題について  
3. 19年度附属農場予算配分額（案）について  
4. その他
- 第6回：平成19年9月12日（水）15時30分～17時50分  
議題 1. 鹿大と鹿児島市との連携について  
2. 学内農場の環境整備について  
3. 試験研究計画書の策定について  
4. 教育学部附属小学校からの水田を利用した学習の要望について  
5. ジュース等自動販売機の設置について
- 第7回：平成19年10月3日（水）15時～17時15分  
議題 1. 鹿児島 TLO による入来牧場の風況調査結果について  
2. 農場生産物の取扱いの是非について  
3. 「記念芋焼酎」製造のための芋畑利用の要望について  
4. 入来牧場における牛病気問題について  
5. その他
- 第8回：平成19年10月31日（水）13時30分～15時  
議題 1. 19年度後期集中実習日程の変更について  
2. インフォメーションセンターを活用した農場生産物の PR 販売について  
3. 鹿児島 TLO による入来牧場の風況調査結果について（継続）  
4. 「記念芋焼酎」製造のための芋畑利用の要望について（継続）  
5. 入来牧場における牛病気問題について
- 第9回：平成19年11月27日（火）15時～17時35分  
議題 1. 入来牧場問題の今後の対応について  
2. 動物飼育棟の雨漏り修繕経費の農場と研究室の経費分担について  
3. 学内販売所の整備について  
4. 20年度全国大学農場協議会技樹賞・教育賞候補者並びに一農場一アピールについて
- 第10回：平成20年1月16日（水）10時～11時50分  
議題 1. 入来牧場における車両消毒施設（ゲート）の設置について  
2. 20年度（第40回）附属農場生産物展示即売会について  
3. 学内販売所の整備について  
4. 20年度全国大学農場協議会技樹賞・教育賞候補者並びに一農場一アピールについて
- 第11回：平成20年2月13日（水）15時～17時25分  
議題 1. 入来牧場の再建方向について  
2. 20年度（第40回）附属農場生産物展示即売会について  
3. 実習教育委員会での指摘事項について  
4. 入来牧場の家畜舎の塗装について
- 第12回：平成20年3月11日（火）15時～16時50分  
議題 1. 20年度前期農場実習2及び動物関係プログラム（案）について  
2. 20年度前期集中実習日程（案）について  
3. 20年度前期農場施設等利用計画（案）について  
4. 20年度行事計画日程（案）について  
5. 附属農場施設等利用に関する要項の一部改訂（案）について  
6. 19年度繰越金及びその用途について



7. 19年度環境整備費による唐湊果樹園フェンス補修について
8. 19年度農場予算残の用途について
9. 20年度（第40回）附属農場生産物展示即売会について
10. 決算委員会の設置について
11. その他

### 3) 農場実習教育委員会

#### (1) 委員名簿

農場長（委員長）	坂田 祐介
農場主事	黒田 治之
植物部門主任	遠城 道雄
動物部門主任	伊村 嘉美
生物生産学科	
作物生産学講座	佐々木 修
〃	箱山 晋
〃	佐藤 宗治
〃	一谷 勝之
園芸生産学講座	富永 茂人
〃	山本 雅史
〃	久保 達也
〃	坂田 祐介
〃	橋本 文雄
〃	清水 圭一
家畜生産学講座	吉田 光敏
〃	高山 耕二
病虫害制御学講座	津田 勝男
生物資源化学科	
食品機能化学講座	青木 孝良
生物環境学科	
環境システム学講座	石黒 悦爾
〃	岩崎 浩一
獣医学科 臨床獣医学講座	高木 光博
フロンティアサイエンス	
研究推進センター	田浦 悟

#### (2) 委員会記録

- 第1回：平成19年6月19日（火）16時～17時  
 議題 1. 農場実習のこれまでの取り組みについて  
 2. 農場実習Ⅱのあり方並びに実習内容について
- 第2回：平成19年9月11日（火）15時～16時50分  
 議題 1. 農場実習Ⅱ（4期）の実習プログラムの編成方針について  
 2. 施設別及び分野別実習時間について  
 3. 実習教育委員会経費の用途について  
 4. その他
- 第3回：平成19年10月25日（木）9時35分～11時55分  
 議題 1. 19年度農場実習改善経費の課題選考について  
 2. 農場実習経費の用途について
- 第4回：平成19年11月12日（月）9時30分～11時15分  
 議題 1. 19年度農場実習改善経費の課題選考について  
 2. 農場実習Ⅱのあり方に関するコースからの回答及び提案について  
 3. 入来牧場における実習教育の見直しについて
- 第5回：平成20年1月31日（木）9時30分～11時25分

- 議題 1. 家畜生産に関する実習について  
2. 植物生産に関する実習内容について  
3. その他

#### 4) 農場施設等利用委員会

##### (1) 委員名簿

農場主事(委員長)	黒田 治之
植物部門主任	遠城 道雄
動物部門主任	伊村 嘉美
作物生産学講座	角 明夫
園芸生産学講座	衛藤 威臣
病害虫制御学講座	岩井 久
家畜生産学講座	大久津昌治
生物資源化学科	大塚 彰
生物環境学科	高木 東
獣医学科	川崎 安亮

##### (2) 委員会記録

第1回:平成19年9月14日(金)15時~16時20分

- 議題 1. 19年度後期附属農場施設等利用計画(案)について  
2. 「記念芋焼酎」用のための畑地利用の要望について  
3. 動物飼育棟の雨漏り補修について

第2回:平成19年11月21日(水)10時30分~11時25分

- 議題 1. 19年度実習教育改善経費の課題決定並びに実行委員会に設置について  
2. 記念芋焼酎用イモ栽培のための農場施設利用の要望について  
3. 動物飼育棟の雨漏り修繕経費の農場と研究室の経費分担について  
4. 「学内農場作付け体系検討会」の設置について  
5. 附属農場施設等利用に関する経費負担について

第3回:平成20年3月6日(木)15時~16時20分

- 議題 1. 20年度前期附属農場施設等利用計画(案)について  
2. 20年度行事計画(案)について  
3. 委託試験等に関わる規約の取り決めについて

#### 5) 農場研究報告編集委員会

##### (1) 委員名簿

園芸生産学講座(委員長)	山本 雅史
農場主事	黒田 治之
作物生産学講座	岡本 繁久
家畜生産学講座	大久津昌治
獣医学科	窪田 力

##### (2) 委員会記録

第1回:平成19年5月30日(水)15時~15時50分

- 議題 1. 委員長の選出について  
2. 鹿児島大学農学部農場研究報告投稿規定について

第2回:平成19年12月12日(水)13時45分~14時15分

- 議題 1. 鹿児島大学農学部農場研究報告第30号の編集について

#### 6) 農場家畜防疫対策検討委員会

##### (1) 委員名簿

獣医学科 臨床獣医学講座(委員長)	出口栄三郎
〃	小島 敏之



の物品不用決定伺（鹿児島大学物品管理規程第11条）未提出に関する実態調査と豚の死亡原因の推定ならびに今後の対応策に関する報告書」を参照されたい。

## 2) 牛白血病感染問題

平成19年7月18日、入来牧場職員より、入来牧場で飼養されている牛に白血病ウイルスが感染している可能性が報告された。農場では直ちに、実態調査を開始するとともに、自主的にウシ白血病血清抗体価検査を行い、ウシ白血病ウイルス感染が飼養牛の約6割に及んでいることを確認した。

入来牧場の牛が牛白血病ウイルスに感染しているという可能性は、平成10年以降、鹿児島県から指摘を受けていたにもかかわらず、隔離などの措置を講じることなく放置した結果であった。

ウシ白血病は、ヒトに感染する恐れがなく、食肉の安全性に関しても問題ではないとはいえ、「家畜伝染病予防法」に定められている「届出伝染病」に指定されている意味を考えれば、伝染病としての措置をとることは当然であり、教育施設である大学牧場であればなおさらであって、入来牧場におけるずさんな家畜管理体制の改善が強く求められた。

なお、詳細については、平成20年5月、農学部長に提出した「鹿児島大学農学部附属農場入来牧場における牛白血病感染問題とその対応策並びに入来牧場の再建方向に関する報告書」を参照されたい。

## 3) 入来問題に対する当面の対応について

農場では、教授会の決議に従って、ウシ白血病に関しては、ウイルス感染牛の隔離等による白血病ウイルスの清浄化に向けた取り組みを進めるとともに、入来牧場における家畜衛生管理体制の整備を進めている。また、豚の飼養に関しては、学部カリキュラムに則した実習計画を策定し、それに基づいた豚飼養の再開を進めている。さらに、中長期的な検討が必要な実習教育・研究体制のあり方については、農場運営委員会、実習教育委員会および農場会議において検討する予定としている。

第8表 入来牧場で生じた問題と今後の対策（平成19年度第8回教授会承認）

生じた問題	対 策
1 豚の疾病 1) 死亡率は県内の死亡率より高い。 2) 死亡原因は特定できないが、老朽施設や日常管理の不備によるものである。	畜産関連法規，獣医関連法規，食品安全関連法規を遵守し，大学内外に誇れるバイオセキュリティーの行きとどいた牧場とするために，入来牧場と家畜生産学講座および獣医学科で構成する「附属農場家畜防疫対策検討委員会」を設置して検討する。
2 牛の疾病 1) 牛白血病の抗体が観察された。 2) 近隣の農場への感染の可能性はないのか。	・入来牧場に獣医師（特任職員）を配置する。 ・豚の飼養については，オールイン・オールアウト方式とする。 ・牛については，3ヶ月毎に牛白血病の抗体検査を実施し，牛白血病ウイルスフリー化を進める。
3 販売された肉の安全性 1) 食肉としての問題はないのか。	牛・豚ともに，と畜検査により合格したもののみ食用にできるので問題はなく，今後も健全な家畜の育成に努める。
4 肉の販売中止について 1) 最近の食肉処理施設は HACCP システム下で処理しているところが多く，本農場では対応が遅れている。改善されるまで販売を停止している。	入来牧場で行ってきた肉のカット・パック詰めは中止し，「JA 食肉かごしま南薩工場」に委託する。
5 管理体制 1) 現場の問題が農場長及び主事に報告されていない。 2) 牛白血病感染については，平成13年ごろから県の指摘を受けていたが，清浄化の対策が取られなかった。 3) 豚については柵卸し時に飼育頭数確認が行われなかった。	1) 農場組織のあり方を見直し，管理体制を強化する。 2) 「附属農場家畜防疫対策検討委員会」において，防疫等を含めた業務運営の改善策を立案し，農場長に諮る。 3) 物品管理規程第11条を遵守するために，現存家畜数の確認を毎月実施する。
6 問題が生じた背景 1) 生産中心主義で牧場運営がなされた。 2) 現場の技術職員・教員の認識が欠如していた。	1) 生産物を実習教育・研究の副産物と位置づけ，本来機能である実習教育・研究の充実を図る。 2) 今日的な家畜衛生管理技術を習得させるための研修を制度化する。

Ⅱ 農場運営

<p>7 情報公開について</p> <p>1) どのようなかたちで情報公開を行うのか。</p>	<p>「豚の物品不用伺い未提出問題」および「牛の白血病問題」を報告書としてまとめ、今年度中に学部長へ提出する。</p>
<p>8 調査体制</p> <p>1) どのような調査体制をとってか</p> <p>2) 大学本部への報告</p>	<p>1) 当事者からの聞き取りと物品管理に関わる調査を行うとともに、学部内に「入来牧場問題対策検討会」を設置して県並びに家畜保健衛生所との意見交換を行う。</p> <p>2) 牛・豚の問題とも調査結果並びに今後の対応策を策定し、大学本部へ報告する。</p>
<p>9 その他</p>	<p>豚飼養の停止，食肉販売と人工授精作業の停止，牧場における飼養牛の白血病血清抗体価自主検査，白血病感染牛と非感染牛の分離飼育および出産子牛への白血病感染防止策，帳簿の修正整理などを行う。</p>